

ごあいさつ

院長
丸川 浩平



丸川病院は平成 28 年 2 月、当院の診療理念である「その人らしく生きる！」の実現に向けて、この入善町で新たなスタートを切りました。

私たちは様々な疾病に対して質の高い急性期・亜急性期の治療を行いながら、すべてのスタッフがチームとなって集中的なリハビリテーションを提供することで、身体機能の低下を防ぎ、患者さんが 1 日も早く元の生活に戻れることを目標としています。そのために新病院の病棟をワンフロア設計とし、病室・廊下に間仕切りを作らず、ゆとりあるスペースを確保して、あらゆる空間でリハビリテーションが行える環境を整えました。この構造はスタッフステーションからリハビリをしている患者さんの状態を常に確認し、診療にかかわるすべてのスタッフがその情報を共有することで、より効率的な病態の改善が得られ、早期の社会復帰を可能にすると考えました。

外来診療では最新の MRI・CT・超音波検査機器を導入し、検査体制の充実を図ることにより、脳卒中を含めた脳・脊髄・神経疾患の予防、早期発見、治療を行っています。

また、診療科に一般内科・消化器内科に加え、内科的な全身疾患の診断・治療はもちろん、上部・下部消化管内視鏡検査による腫瘍の早期発見、治療も可能となりました。

全国的に少子高齢化が急速に進む中、地域の皆さまが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができることが求められています。当院は地域の包括的な支援、サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築にも積極的に参画し、地域の皆さまのかけつけ医として、「その人らしく生きる！」をモットーに全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



■診療時間のご案内

	受付時間	診療時間
月～土 午前	初診 8:20～11:30 再診 8:20～12:00	9:00～13:00
月～金 午後	初診 15:30～17:30 再診 15:30～18:00	16:00～18:00
土曜日 午後	13:30～16:00	14:00～17:00
休診	日曜祝日	

※救急応需についてはこの限りではありません。

Access



こすもす
医療法人社団 秋桜 丸川病院

〒939-0624 富山県下新川郡入善町青島396番地1

TEL(0765)72-5150(代) FAX(0765)32-3112

http://www.marukawa-hp.com [丸川病院](#) [検索](#)

通所・訪問リハビリテーション施設

TEL(0765)72-5352 FAX(0765)32-3116



MARUKAWA HOSPITAL

病院案内



こすもす
医療法人社団 秋桜 丸川病院

理念

「その人らしく生きる」

私たちは、共にあなたの健康や障害について考え、あなたの不安を少しでもやわらげ、そして、あなたらしい生き生きとした生活と笑顔のために、お手伝いし応援します。



方針

1. 疾病の予防・早期発見から、診断・治療まで適切な医療を提供します。
2. 急性期から回復期、維持期まで、一貫したリハビリテーションを提供します。
3. 皆さまと私たちスタッフが一つのチームとなり、早期家庭・社会復帰に向けて身体機能の維持・回復を支援します。
4. 皆さまにとって、何でも相談しやすい環境づくりに努めます。
5. 地域やその他の医療機関・施設との連携をはかり、安心して在宅に復帰できるよう、入院中からその環境整備に努めます。

病院概要

Outline

病 院 名	医療法人社団 秋桜（コスモス） 丸川病院
診 療 科 目	脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科、神経内科、内科、肝臓・消化器内科
所 在 地	〒939-0624 富山県下新川郡入善町青島 396 番地 1
電 話	0765-72-5150(代)
F A X	0765-72-3112
理 事 長	丸川 忍
設 立	昭和 54 年 9 月
病 床 数	全 38 床（一般 38 床）
検 査 機 器	MRI、CT、超音波診断装置、上部・下部消化管内視鏡、光トポグラフィ、レントゲン、骨塩定量診断装置

沿革

History

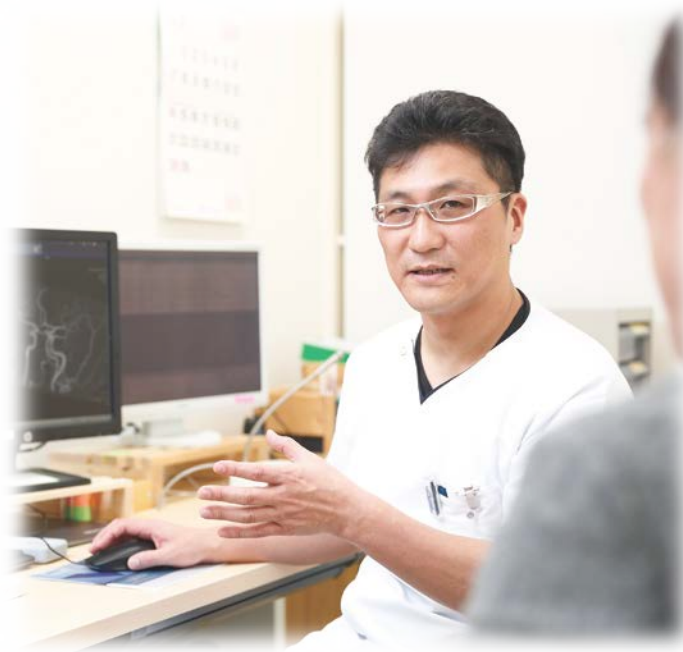
1979 年	丸川病院(48床)開設 下新川地区で初めて頭部専用CT検査導入、黒部市民病院脳神経外科・富山労災病院脳神経外科と連携して朝日町で診療を開始	2007 年	医療法人社団 秋桜 丸川病院設立 動脈硬化症診断装置(CAVI)導入
1989 年	厚生棟完成、MRI検査導入	2008 年	新リハビリテーション棟オープン
1994 年	骨塩定量診断装置導入	2009 年	介護保険部門 通所リハビリテーション向日院開始
2001 年	デジタルX線像診断システム導入	2010 年	全病床一般病床化48床(うち亜急性期病床24床)
2003 年	病床ケアミックス化(一般病床23床、医療療養病床25床)	2011 年	訪問リハビリテーション提供開始 10月 高橋友強医師就任
2004 年	超音波(頸動脈エコー)診断装置導入	2013 年	訪問言語聴覚療法提供開始
2005 年	丸川浩平現院長就任(前黒部市民病院脳神経外科)	2016 年	入善町青島に新病院新築移転(38床) 4月 丸川洋平医師就任 内科・消化器内科診療開始

脳神経外科・神経内科

中枢神経(脳・脳幹・脊髄)に発生する血管障害・腫瘍・変性を診断し、治療を行っています。

脳卒中に対する予防医学、早期診断、治療に力を入れています。頭部MRI検査は可能な限り受診された当日に撮影し、未破裂脳動脈瘤などの血管異常や脳卒中の早期診断を行い、早期治療を行っています。発症後の身体機能の低下を最小限に抑え、回復させるリハビリテーションにも力を入れており、入院設備、通所・訪問リハビリテーションを充実させ、皆さまが希望される在宅での生活を早期に実現できるよう努めています。

その他、頭痛症、高齢化に伴う認知症やパーキンソン病、てんかんなどの診断・治療を幅広く行っています。



整形外科

脊髄、末梢神経、筋肉、関節・骨などにおきる疾患、外傷に対して診断、治療を行っています。

外来での診察、レントゲン検査、CT検査、MRI検査による中枢神経の異常を細かく検査し、診断を行ったうえで内服・外用治療および関節注射などによる積極的な治療を行っています。また、痛みに伴う活動性の低下から廃用症候群を予防するため、通所・訪問リハビリを行っています。

高齢に伴い肩、膝の関節、足のしびれ、腰痛など生活・仕事の場で酷使されている部位の痛みを苦しめている方、若年者の成長やスポーツに伴う痛み、外傷等、お気軽にご相談ください。



肝臓・消化器内科

内視鏡検査による消化管疾患の診断と治療を中心に、慢性肝炎を含む消化器疾患の専門的な検査・治療を行っています。

最新の内視鏡設備を導入し、消化管の良性・悪性疾患の診断と内視鏡治療に力を入れています。検査は可能な限り早く行い、早期診断、治療に努めています。健康診断や人間ドックにて精密検査が必要とされた異常に対しては血液検査、腹部超音波検査による鑑別診断を行い、生活における指導と治療法を説明しています。また腹部の慢性的な症状に対するご相談にも応じます。腰痛の原因は胃潰瘍や悪性腫瘍などの器質的疾患だけでなく、機能的な障害や泌尿器科的疾患、婦人科的疾患の場合もあり得ますので、各種検査により診断を行い、当院での治療または専門機関への紹介をさせていただきます。



その他、健康診断・人間ドック、各種予防接種(インフルエンザ・肺炎球菌など)を行っておりますので、お気軽にご相談ください。

検査のご案内

当院では可能な限り受診いただきました当日に検査を行い、早期診断・治療を心がけています。ご希望される検査がございましたら事前に当院までご連絡ください。検査に関する説明と日程調整を行います。

MRI(磁気共鳴画像診断)検査



当院ではMRI機器を更新し、常に最先端の画像を提供できるようにしています。静かな環境・短い検査時間で高精細な画像を得ることができ、微小な脳動脈瘤や小さな脳梗塞まで詳しく描出することが可能です。受診いただいた当日に検査を行うよう心がけており、脳卒中を含めた脳脊髄疾患の早期診断、治療に力を発揮しています。

設備 シーメンス社製 3.0T MRI装置
MAGNETOM Spectra

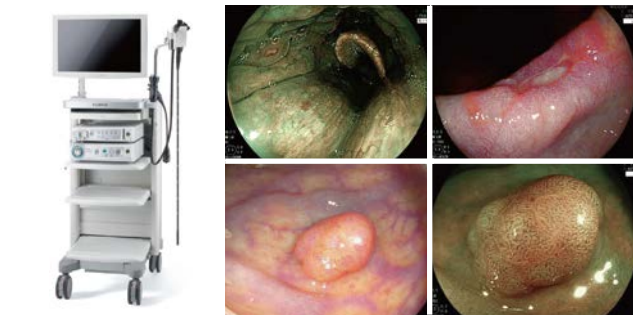
エコー(超音波画像診断)検査



放射線被ばくの心配がない超音波を利用し、臓器の形態および血流の評価を行います。当院では①頸動脈超音波検査、②腹部超音波検査、③心臓超音波検査を行い、動脈硬化の評価、腹部悪性腫瘍のスクリーニング、心機能の評価を行っています。

設備 シーメンス社製
ハイエンド汎用型超音波診断装置
ACUSON S1000HELX

内視鏡検査



胃カメラと大腸カメラを行っております。胃カメラは鼻から挿入が可能で皆さまの負担が少ない細径内視鏡と、病変を拡大して詳細に観察できる光学拡大スコープを備え、ご希望や病変に合わせて選択して検査を行います。大腸カメラは細径光学拡大スコープを備え、病変の詳細な観察と内視鏡的治療が可能です。

設備 富士フィルム・メディカル社製
上部消化管用経鼻内視鏡(EG-L580NW)
上部消化管用光学拡大スコープ(EG-L6002W)
下部消化管用光学拡大スコープ(EC-L6002P)

CT検査



X線を使用し、短時間で広範囲にわたる体腔内スキャンが可能な検査法です。体内の様々な病変を発見することができ、特に大動脈、気管支・肺などの胸部、肝臓、腎臓などの腹部の病変に対して優れた描出能を有しています。腫瘍性病変に対しては造影剤を使用することで良悪性の質的診断が可能です。

設備 シーメンス社製 16列 CT装置
SOMATOM Emotion 16

リハビリテーション科

リハビリテーション科は、病気やけがにより生じた麻痺やしびれ、痛みなど様々な症状により、自立した生活が困難となった方を対象とし生活を立て直すことを目標に、セラピスト(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)による訓練や物理療法、薬物療法などの治療と、環境や支援体制の整備などを包括的に進める診療を行っています。

入院部門では、

- ①脳卒中や頭部外傷・脊髄損傷などの神経疾患や、骨折などの運動器疾患の発症後早期の方。
 - ②肺炎などの内科疾患や手術等により筋力・体力が低下し生活能力が低下した方。
 - ③在宅療養中に生活能力や摂食・嚥下機能が低下した方。
 - ④脳疾患による麻痺などの後遺症の改善を望む方。
 - ⑤重度の疾患により寝たきりとなったが、少しでも反応や生活行動を引き出したいと望まれる方。
- を主な対象とし、「その人らしい生活」の再獲得を目標に、セラピスト、看護師、介護福祉士、管理栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカー、医師による多職種チームを結成し診療を進めています。

平成28年2月にオープンした新病院の病棟は、最新機器・設備を有するリハビリ室を病室・スタッフステーションがとり囲む構造を特徴としています。専門的な訓練を提供できるハード面の環境が整備された上に、多職種が患者さんの状態を把握しやすくコミュニケーションもとりやすくなり、リハビリのアウトカム(どれだけ早く・どれだけ大きく改善できるか)を左右する多職種協働体制(いわゆるソフト面の環境)も大きく改善しました。

リハビリテーション科医師による治療として、麻痺などに併存する手足のこばわり(痙攣)に対する「ボツリヌス療法」を行っています。また、その治療後に集中的なリハビリテーションを行い、麻痺の改善を図る短期集中入院リハビリプログラム(ASSISTプログラム)も行っています。詳しくは当院ホームページをご参照ください。

リハビリテーション専門職の役割

理学療法士

理学療法では運動機能の回復、日常生活活動(ADL)の改善を図り、最終的にはQOL(生活の質)の向上をめざします。病気、障がいがあっても住み慣れた街で、暮らしたいという一人ひとりの思いを大切にします。



作業療法士

作業療法では、身体や精神に障がいがある方や、それが予想される方に対して、その主体的な生活の獲得を図るため各種作業活動を用いて、治療・指導及び援助を行います。退院後の生活の支援もいたします。



言語聴覚療法士

言語聴覚士は、ことばや発声・発音、認知などのコミュニケーションに関する機能に問題がある方、食べること、飲み込むことに問題のある方に対して、検査・評価・リハビリテーションを行い、自分らしい生活を構築できるよう支援します。



看護師

看護部ではNICD(意識障害・寝たきり(廃用症候群)患者の生活行動回復看護)を推奨し、その人らしい生活を送れるように生活行動の回復に向けて、患者さんに寄り添う、地域に根差した看護を実践しています。



管理栄養士

患者さん一人ひとりの栄養リスクをいち早く発見し、身体の栄養状態を評価、判定して、最適な栄養プランを提案します。また、食事を楽しみ、生きる意欲の向上が図れるように食事の援助を行います。



介護福祉士

障がいを持ち、誰かの手助けが必要な状態でも「自宅に戻りたい」という気持ちを支え、「その人らしく生きる」ことができるよう生活面を支えるお手伝いをしています。また皆さまが前向きに明るく頑張れるよう笑顔をもっと取り組んでいます。



介護保険部門

住み慣れたご自宅、地域での生活が「その人らしく」あり続けるために、介護保険部門が支援します。病気や障害を抱えてしまったとしても、「その人」が輝き続けるために、専門的なリハビリテーションや生活に根付いたリハビリプログラムを提供しています。そして安心した在宅生活が送れるよう、切れ目のない支援を続け、地域住民の方々にも「元気」を届けていきます。



通所リハビリテーション

通所リハビリテーションはリハビリに特化した短時間型の施設で、食事や入浴サービスはありません。療法士による個別リハビリでは、最新の電気刺激を用いた歩行・上肢機能訓練といったニューロリハビリテーションも積極的に取り組み、成果を上げています。また介護スタッフによるバランスボールエクササイズや機械、レッドコード、マット運動など「心も体も元気」になるよう、閉じこもった生活にならないようにスタッフが全力でお手伝いさせていただきます。



訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションでは歩行練習やトイレ・入浴動作練習の他、「ことば」や「食べる」ことに対する専門職種(理学・作業療法士、言語聴覚士)がご自宅に伺ってリハビリを行います。その活動の中で介護支援専門員や介護サービス事業所との連携を積極的にとることで、利用者の在宅における環境がより整うよう工夫しています。



国土交通省指定 短期入院協力病院『丸川病院』

当院は、平成26年10月28日付で短期入院協力病院に指定されております。自動車事故により重度の後遺障が負い、自動車事故対策機構の介護料受給資格をお持ちで、在宅療養されている方が対象です。丸川病院では以下の環境が整っています。

- ・1回あたり、原則2日以上14日以内の短期入院が可能です(ただし、入院期間は医師の判断によります)。
- ・医学管理の下に、医師の診察、検査及び短期集中リハビリテーションが受けられます。
- ・介護する家族等において、専門職から在宅介護技術(病状、観察法、入浴法、食事方法など)及びケアの方法の助言が受けられます。

短期入院に関するご相談、お申込みは、地域連携室までお問合せください。